

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	はり実技 5	
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	45時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	教科書は臨床医学各論、教材や資料は時間中に配布する。				
担当教員情報					
担当教員	濱田 淳 / 森田 義之		実務経験の有無・職種	有・鍼灸師	
学習目的					
主要症候の病態を部位別に現代医学的な観点から学び、臨床において鍼施術をどのように行うかを学ぶ。疾病の原因、局所解剖、徒手検査法などを学習し、鍼灸の適応・不適応の鑑別力、病態判断の精度を高め、治療の基本となる要穴や常用穴に対して解剖学的見地に基づき、確実な取穴と安全な刺鍼が行えるようになることがねらいである。また、実習を通じて、医療従事者としてふさわしい身なり、態度、言葉遣いを理解、実践し、身に付けることもねらいである。					
到達目標					
この科目では泌尿生殖系の主要疾患、症候に対して、効果的な鍼施術を安全かつ確実に行う能力を身につけることを目的とし、各疾患・症候の原因と局所解剖を理解すること、鑑別力と病態把握の精度を上げること、治療に必要な部位への的確な刺鍼が行えるようになることが目標である。また、疾患を持つ相手への施術を想定するため、医療従事者としての相手への気遣い、目配り、態度、姿勢を身に付けることを目標とする。					
教育方法等					
授業概要	筑波大学における長年の研鑽によって育まれてきた「筑波大学式鍼治療理論」を元に、現代医学的「鍼」を教授する。対象科目は泌尿器とする。他の研究機関では症例も少ない分野であるが、筑波大学ではこの分野における多くの成果を持つ。筑波大学で使用される低周波通電器を用い、病態の把握をしっかりと理解させた後、実際に刺鍼練習を行うことで効果の高い技術を身に付ける。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 試験は前期での疾患論について行う。実技では、受講態度によって評価することを原則とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	筆記試験評価		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1	自己紹介、現代井垣的鍼とは		筑波大式鍼治療理論について理解する		
2	尿路感染症（膀胱炎及び関連疾患）		尿路感染症に関して原因から症状までを理解する		
3	尿路感染症（前立腺炎）		尿路感染症に関して原因から症状までを理解する		
4	尿路感染症（腎炎）		尿路感染症に関して原因から症状までを理解する		
5	尿路感染症（精囊炎、精巣炎）		尿路感染症に関して原因から症状までを理解する		
6	疼痛性疾患（慢性骨盤部痛症候群）		かつて「慢性前立腺炎」と呼ばれた骨盤部の疼痛を理解する		
7	疼痛性疾患（慢性骨盤部痛症候群）		かつて「慢性前立腺炎」と呼ばれた骨盤部の疼痛を理解する		
8	疼痛性疾患（慢性骨盤部痛）		女性の骨盤部痛を理解する		
9	排尿障害（前立腺肥大症）		男性の排尿障害の原因疾患の筆頭を理解する		
10	排尿障害（過活動膀胱、尿失禁）		女性の排尿障害について理解する		
11	腫瘍性疾患（前立腺癌、膀胱癌）		泌尿器系の癌について理解する		
12	夜間頻尿に対する鍼治療法		夜間頻尿の対する鍼治療を安全にできる		
13	恥骨上部への刺鍼の基礎練習		下腹部への刺鍼が安全にできる		
14	僧帽筋		僧帽筋への刺鍼が安全にできる		
15	三角筋、小円筋		三角筋・小円筋への刺鍼が安全にできる		

授業計画（１６回～２３回）		
16	頭最長筋、頸板状筋	頸部の筋に対する治療を安全にできる
17	後頭下筋	頸部の筋に対する治療を安全にできる
18	脊柱起立筋	背部の筋(浅層) に対する治療を安全にできる
19	多裂筋、最長筋、腸腰筋	背部の筋(深層) に対する治療を安全にできる
20	殿筋	殿部の筋に対する治療を安全にできる
21	ハムストリングス	大腿部（後面）に対する治療を安全にできる
22	大腿四頭筋	大腿部（前面）に対する治療を安全にできる
23	下腿三頭筋、腓骨筋、前脛骨筋	形井部の筋に対する治療を安全にできる